TOSHIBA 東芝カメラコントローラ取扱説明書

対象機種	TSAP-430

このたびは、東芝カメラコントローラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのカメラコントローラを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

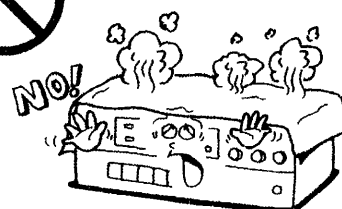
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

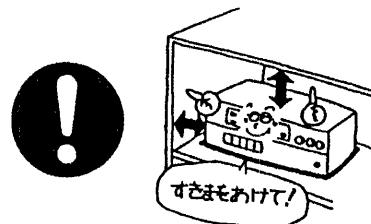
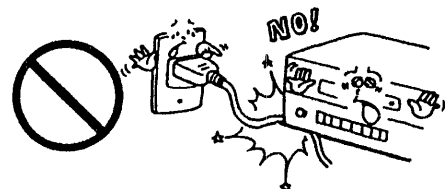
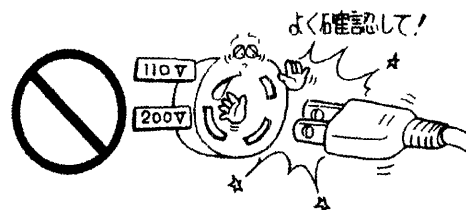
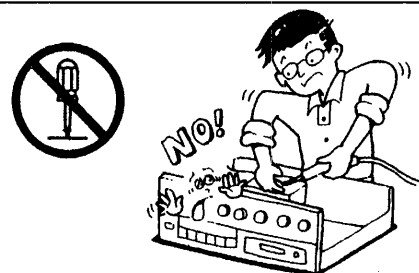
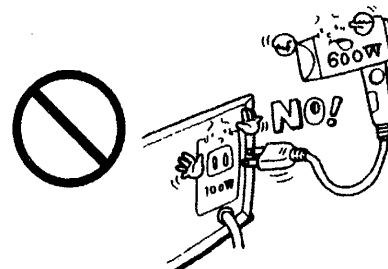
〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

■ 通風のよい場所に設置してください。高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。
- サウナや風呂場など
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
- 直射日光のあたる場所
- 夏の窓を閉めきった自動車の中
- 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近
- 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所

■この機器の通風孔はふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
- 風通しの悪い狭い所におしこむ。
- テーブルクロスなどをかけたり、じゅーたんや布団の上に置いて使用する。
- 仰向けや横倒し、逆さにする。

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

<生産完了 2009年11月01日>

⚠ 警告

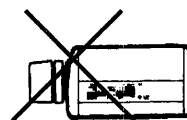
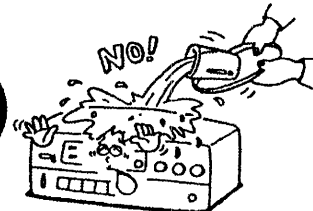
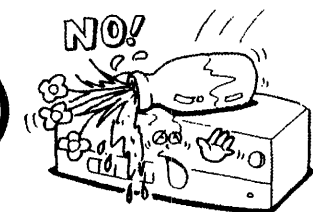
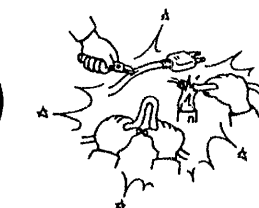
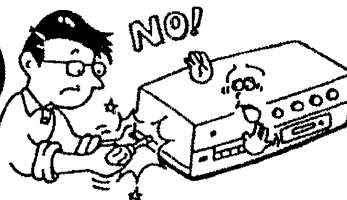
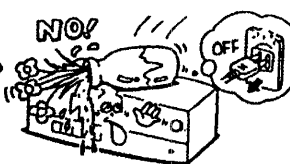
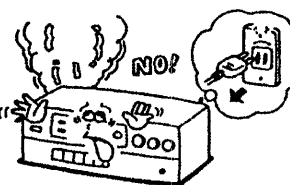
■ この機器を設置する場合、間隔をおいて据えつけてください。
また放熱をよくするために、他の機器との間を少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

■ 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。

■ 表示された電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災，感電の原因となります。

■ この機器は改造しないでください。
火災，感電の原因となります。

■ この機器のACアウトレット（サービスコンセント）が供給できる電力はアウトレット部に表示している値までです。接続する装置の消費電力の合計がこの値を越えないようにしてください。
また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流が流れる電磁調理器などの機器は、接続しないでください。

■AC100V関係の配線工事は電気工事士にご依頼ください。
一般の人が行うことは法により禁じられています。

■ 必ずアース端子は接地してください。
- 感電事故防止のため、および外来ノイズから機器を守るノイズ吸収素子の働きを活かすために、必ずアース端子を接地してください。
- ガス管にアースすると危険ですから絶対におやめください。
- アースはD種（第３種）接地工事（接地抵抗100Ω以下）とし、専用としてください。

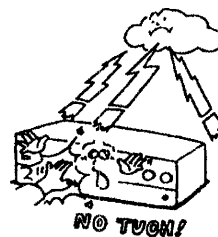
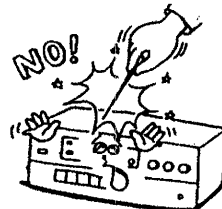
<生産完了 2009年11月01日>

⚠ 警告

〔使うときの注意〕

■ この機器は、TXD−V7401等弊社のNVP方式カメラと組み合わせて使用できます。
VP方式カメラ等とは、接続して使用しないでください。
故障の原因となります。

■ この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。

■ この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
火災、感電の原因となります。

■ この機器のカバーは絶対に外さないでください。
感電の原因になります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

■ 万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■ 万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。
すぐに、本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理を依頼してください。

■ 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

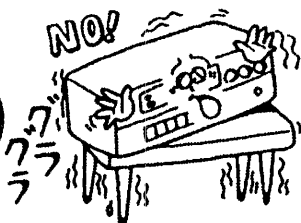
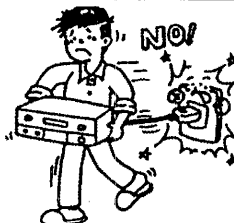
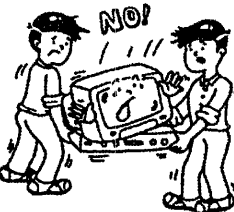
⚠ 警告

■ 雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

■ この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
火災、感電の原因となります。

〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

■ 電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのままで使用すると火災、感電の原因となります。

注意

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

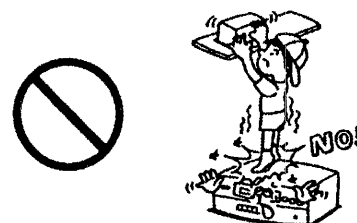
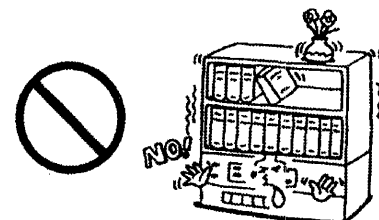
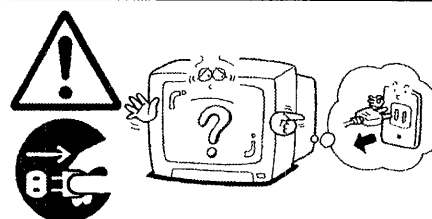
■ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

■ 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。
そのままで移動するとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

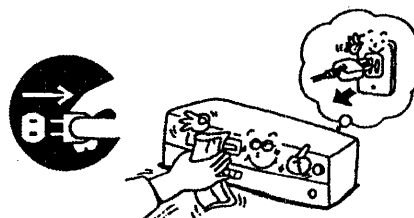
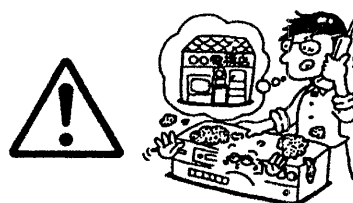
■ 電源コードや接続機器類のコードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

⚠ 注意

〔使うときの注意〕

■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

■ この機器の上に乗ったりしないでください。
特にお子様にはご注意ください。
こわれたりして、けがの原因になることがあります。

■ この機器の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

■ 使用中に突然映像が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店にご相談ください。
そのまま放置しておくと、大変危険です。

〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

■ 1年に一度ぐらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。

■ ヒューズを交換するときは必ず指定容量のものをご使用ください。
針金や銅線は使用しないでください。
機器の保護ができず、発熱、火災の原因となります。

使用上のご注意

■ 接続できる多重形カメラは、当社製の下記『NVP』多重形カメラのみです。
『VP』多重形カメラは、接続できません。接続しますと、本機およびカメラの故障の原因になりますので、絶対に接続しないでください。

接続適合カメラ

NVP 多重形カメラ：TXD−V7401，TXD−V7801，TXD−V7701，TXD−V6301 等

■ 音声モニタ（音声出力）は、マイク内蔵カメラと接続した場合のみ可能となります。
（カメラ側でマイク『入』のスイッチ設定等が必要です。）

■ カメラと本機間の同軸ケーブルの配線距離は、右表のとおりです。
配線距離に応じて同軸ケーブルをお選びください。

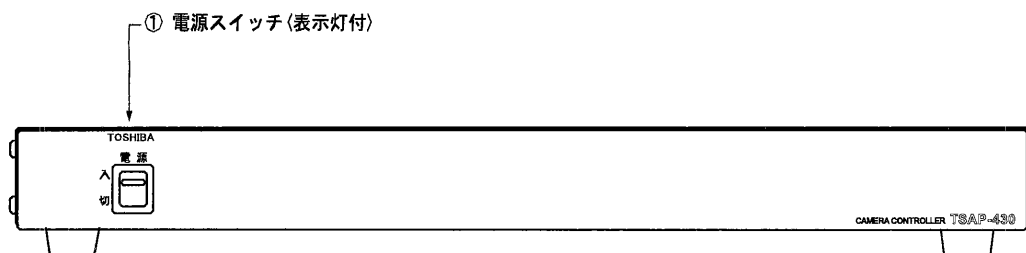
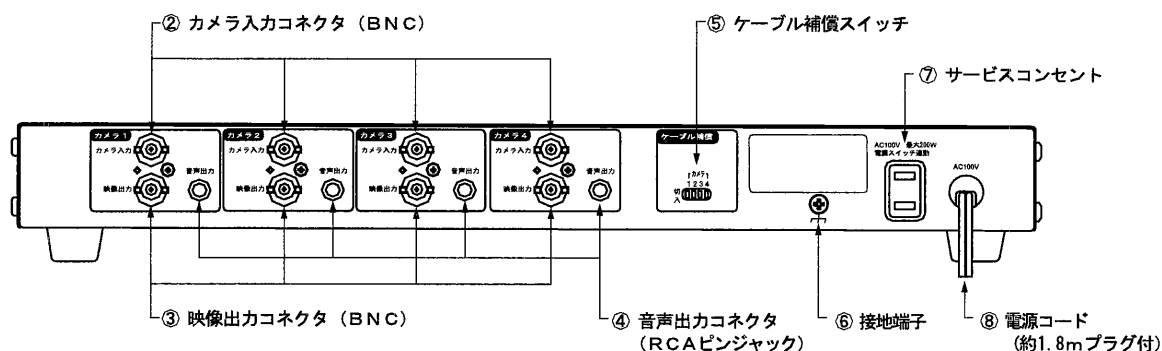
同軸ケーブル	最大配線距離
3C−2V	200m
5C−2V	500m

■ 電源スイッチは、カメラを接続後『入』にしてください。
電源スイッチが『入』のままカメラを接続してもうつりません。
その場合には、電源スイッチを『切』にして、5秒以上経過後に『入』にしてください。

映像切換時の映像乱れ（バタツキ）について

● 本機では、各カメラからの映像信号の同期を合わせていませんので、映像切換器で各カメラ映像を切換えた場合、切換え時にモニタ画面上に一瞬、映像の乱れ（バタツキ）が発生する場合がありますが、故障ではありません。

各部のなまえとはたらき

〔正 面 図〕

〔背 面 図〕

① 電源スイッチ
本コントローラの供給電源を入、切します。
カメラへの電源供給および背面のサービスコンセントも連動して入、切します。
電源スイッチ『入』で表示灯（緑）が点灯します。

② カメラ入力コネクタ（BNC）
NVP 多重形カメラを接続するコネクタです。
カメラ4台分の入力があります。

③ 映像出力コネクタ（BNC）
モニタテレビ、映像切換器等の映像入力端子に接続します。
4台のカメラ毎の映像出力です。

④ 音声出力コネクタ（RCAピンジャック）
モニタテレビ、VTR等の音声入力端子に接続します。
マイク付カメラの音声をカメラ毎に出力します。

⑤ ケーブル補償スイッチ
本コントローラとカメラ間の同軸ケーブルが、250m 以上の場合、ケーブル補償機能を動作させます。スイッチを『入』にします。

⑥ 接地端子
D 種（第3種）接地をしてください。

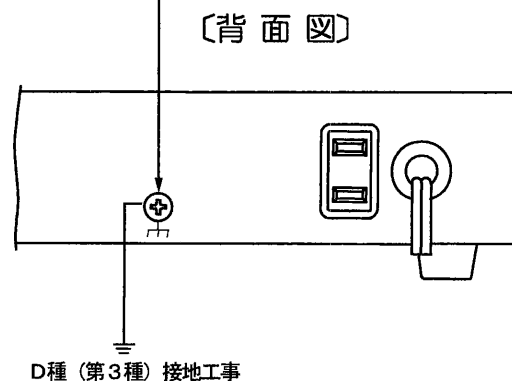
⑦ サービスコンセント
電源スイッチと連動して AC100V 最大 200W までの電源を供給できます。
映像機器以外には使用しないでください。

⑧ 電源コード
プラグを AC100V 50／60Hz のコンセントに接続してください。

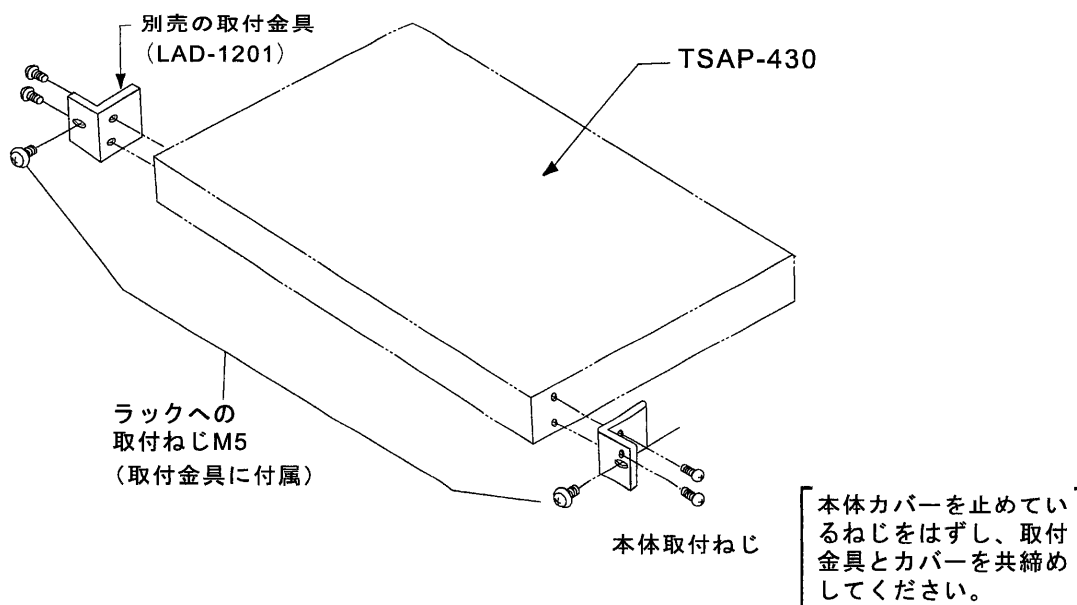
工事店様へ

接地工事について

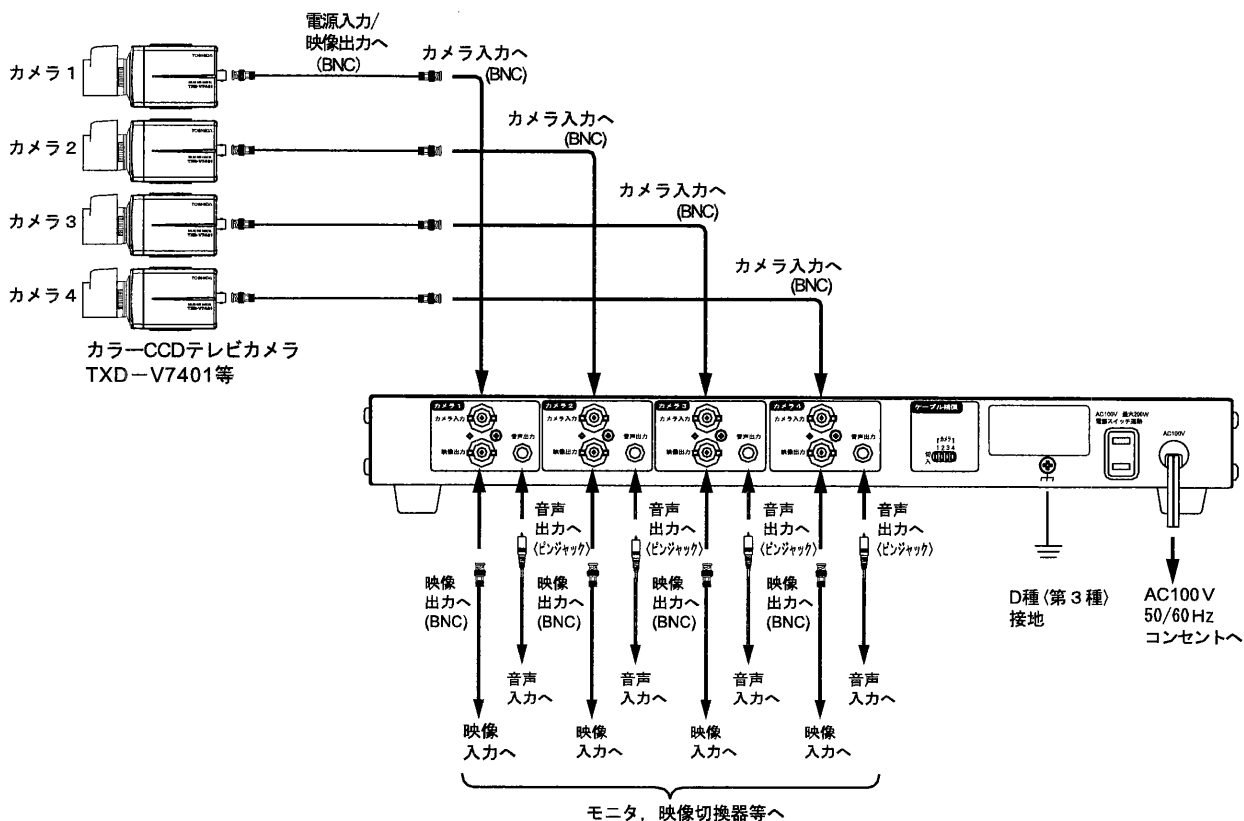
● 本機には外来ノイズから機器を守るためにノイズ吸収素子（サージアブソーバ）が電源ラインと筐体間に入っています。これらのノイズ吸収素子の働きを生かすために必ず接地端子を接地してください。

● 接地はD種（第３種）接地工事とし専用としてください。
照明用や動力用の接地と共用しますとこれらの機器からの影響をうけ誤動作の原因となりますので必ず専用接地としてください。

設置のしかた

● 卓上形としてまたは EIA サイズのラックに取付けて使用できます。

● EIA サイズのラックに取付ける場合は、別売の取付金具（LAD-1201）を使って次のように取付けてください。
① 本機の底面のゴム足４個を取りはずします。
② 本体両側面前側のねじ４個を取りはずします。
③ そのねじを使って下図のように別売の取付金具（LAD-1201）を両側面に取り付けます。
④ 取付金具に付属の化粧ねじ（M5）を使ってラックに固定します。

接続のしかた

● 下図を参考に接続してください。

● 詳細は、テレビカメラ、モニタテレビ、映像切換器等の接続機器の取扱説明書を参照してください。

● 映像信号の接続ケーブルとしては同軸ケーブルを使用してください。

● テレビカメラと本機間の同軸ケーブルの配線距離は右表のとおりです。
配線距離に応じて同軸ケーブルを選んでください。

● テレビカメラと本機間に映像分配器等の機器を入れることはできません。

同軸ケーブル	最大配線距離
3C－2V	200m
5C－2V	500m

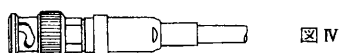
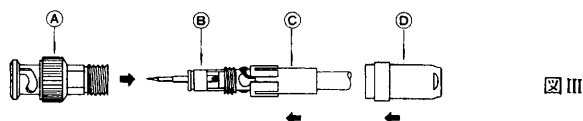
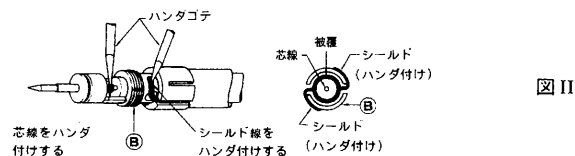
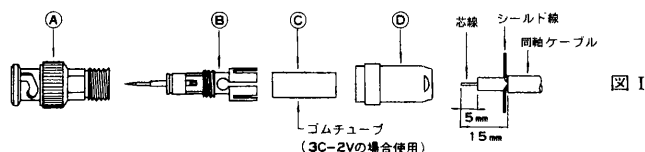
別売のBNCコネクタ(AFC-16)と同軸ケーブルの接続のしかた

● BNC コネクタを図Ⅰのように Ⓐ～Ⓓ に分解し、Ⓓ, Ⓒ（3C−2V の場合使用）を同軸ケーブルに通します。

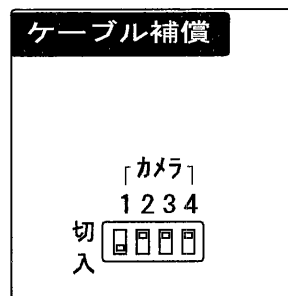
● 同軸ケーブルの先端から 15 ㎜のところまで外皮をナイフで取り除きます。

● シールド線は2等分してよりあわせ、芯線は 5 ㎜出るよう絶縁物を取り除きます。（図Ⅰ）

● Ⓑ を同軸ケーブルに通し図Ⅱのようにシールド線を Ⓑ にまきつけシールド線、芯線を各々ハンダ付けします。

● 図Ⅲのように Ⓑ と同軸ケーブルの間に Ⓒ を通しスパナで Ⓐ を Ⓑ にねじ込み次に Ⓐ に Ⓓ をねじ込んで固定して完了です。（図Ⅳ）

ケーブル補償について（カメラと本機間の同軸ケーブルが 250m 以上の場合）

- カメラと本機間の同軸ケーブルが 250m以上となる場合は、ケーブル補償機能を動作させることができます。それにより鮮明な映像が得られます。
- 背面のケーブル補償スイッチを『入』（下側）に切換えます。

カメラ入力１のみ『入』の場合

使いかた

- 正しく接続されているかもう一度お確かめください。
- 本機および各機器の電源を入れてください。
  本機よりカメラへ電源が供給され、カメラからは映像信号が本機へ入力され、モニタテレビに出画します。
- カメラのレンズおよびモニタテレビの輝度、コントラストを調節してご使用ください。

仕　様

項目	内容	項目	内容
電源	AC 100V　50/60 Hz	サービスコンセント	1個（AC 100 V，最大 200W 電源スイッチに連動）
消費電力	約 52W		
伝送方式	DC 電源に映像信号，音声信号を多重	外観	鋼鈑 ブラック（マンセル N1.5近似色）
カメラ接続台数	4 台（BNC コネクタ）		
適合カメラ	NVP 多重形カメラ TXD−V7401，TXD− V7801， TXD−V7701，TXD-V6301 等	外形寸法	幅　：420mm　高さ：44mm 奥行：300mm （突起物を除く）　[＊1]
同軸ケーブル配線距離（カメラ−本機間）	最大 500m（5C-2V 使用時） 最大 200m（3C-2V 使用時）	質量	約 3.2kg
		使用周囲温度	0℃ ～ 40℃
映像出力	出力数：4（BNC コネクタ） 信号方式：VBS 1V(p-p)/75Ω 接続のカメラ毎の映像	付属品	取扱説明書…………………… 1 東芝家電修理ご相談センター書…… 1
音声出力	出力数：4（RCA ピンジャック） 出力レベル：−4.5 dB/100Ω 接続のマイク付きカメラ毎の音声		

[＊1]：別売の取付金具（LAD-1201）により、EIA サイズのラックに取り付けできます。

ご注意

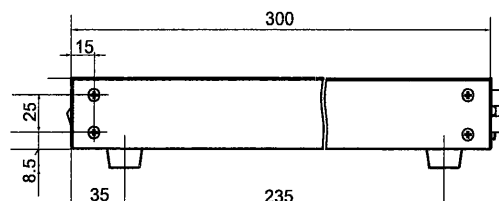
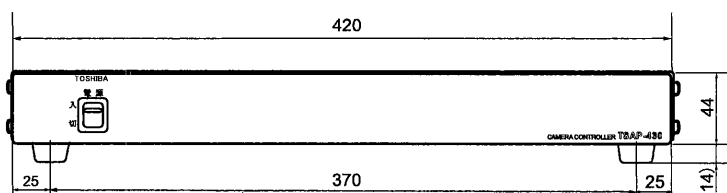
BNC コネクタは、付属していませんので別売の BNC コネクタ（AFC-16）をご使用ください。

<生産完了 2009年11月01日>
TSAP-430 (10 / 12)

外形寸法図

〔正 面 図〕

〔側 面 図〕

単位：mm

ちょっとお調べください

症　状	調べるところ	⇒	処　置
映像が出ない	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	⇒	電源プラグをしっかり差し込んでください。（プラグのほこりは清掃してください。）
	● 本機、カメラ、モニタテレビ等のコネクタがはずれていませんか？	⇒	しっかりと接続して、本機の電源を一旦切って、入れ直してください。
	● 接続しているカメラは、弊社製の NVP 多重方式のカメラですか？	⇒	カメラの取扱説明書を確認してください。VP 多重方式のカメラは、接続できません。
映像が乱れる	● 接続しているカメラは、弊社製の NVP 多重方式のカメラですか？	⇒	カメラの取扱説明書を確認してください。VP 多重方式のカメラは、接続できません。
	● 本機、カメラ、モニタテレビ等のコネクタがゆるんだり、接触不良となっていませんか？	⇒	接続を確認してください。
音声が出ない	● 接続カメラは、マイク内蔵カメラですか？	⇒	マイク内蔵カメラを接続してください。
	● カメラ側でマイク『入』の設定にしてありますか？	⇒	マイク『入』の設定にしてください。

映像切換時の映像乱れ（バタツキ）について

● 本機では、各カメラからの映像信号の同期を合わせていませんので、映像切換器で各カメラ映像を切換えた場合、切換え時にモニタ画面上に一瞬、映像の乱れ（バタツキ）が発生する場合がありますが、故障ではありません。

＜生産完了 2009年11月01日＞

保証とアフターサービスについて

保証について

保証の内容は、下記のとおりとさせていただきます。

保　証　期　間	保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
保　証　内　容	取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
保証の免責事項	保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷 (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合 (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷

修理を依頼されるとき

１．保証期間中は

万一故障がおきた場合は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げの販売店（工事店）までお申し出ください。

２．保証期間を過ぎているときは

お買上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理をさせていただきます。

アフターサービスについてご不明な点は

修理に関する相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝お客様ご相談センターにお問い合わせください。

東芝ライテック株式会社 システム事業部　〒140-8660 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL(03)5463-8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

(22851)A
<生産完了 2009年11月01日>
TSAP-430 (12 / 12)